

報道関係者各位
ニュースリリース

アジア最大のサステナブルシーフードイベント 「サステナブルシーフード・サミット 2025 in 大阪」に登壇

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下 当社)は、2025年10月1日(水)~2日(木)にグランキューブ大阪で開催されるアジア最大のサステナブルシーフードイベント「サステナブルシーフード・サミット 2025 in 大阪(TSSS2025)」に参加します。



本イベントは、サステナブルな水産業の実現を目指し、環境の持続性や社会的責任をテーマに、国内外の水産関連事業や水産資源管理、ブルーファイナンス、水産政策などの分野における専門家や企業、NGOなど、多様な組織のフロントランナーが最新の知見を共有します。

海洋におけるフードシステムの持続可能性の追求や、ネイチャー・ポジティブ(生物多様性の損失を止め、自然の再興を目指す取り組み)の実現、水産業の成長産業化に向けた議論が展開されます。

■講演概要

開催初日の10月1日(水)には、「小規模漁業の未来を描く-DXとサステナブル金融の力」をテーマに当社の社員がパネルセッションに登壇します。

【演題:小規模漁業の未来を描く-DXとサステナブル金融の力】

日時	2025年10月1日(水) パネルセッション時間 17:15 - 18:30
パネリスト	津田 祐樹(株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング代表取締役社長) 桑井 真(UMINEKO サステナビリティ研究所 代表) マーティン・バーベス(インターナショナル・ポール・アンド・ライン・ファウンデーション専務取締役) 小林 正典(笹川平和財団 上席研究員) 狭間 拓人(古野電気株式会社 船用機器事業部 DX推進部 水産DX推進課 課長)
モデレーター	花岡 和佳男(株式会社シーフードレガシー 創立者 代表取締役社長)
概要	東・東南アジアにおいて、食料安全保障や地域経済維持の観点から重要な役割を持つ小規模漁業の重要性が高まる一方、その脆弱性が課題になっています。 小規模漁業の持続可能性、さらにはその特長である多様性をいかに高めていくか。デジタルトランスフォーメーション(DX)とサステナブルファイナンスを両輪に、小規模漁業とその地域社会を活性化させるための道筋を議論します。

Panel Session
Oct.1 WED 17:15-18:30

TSSS サステナブル
2025 シーフード・
in 大阪 サミット
申込受付中

小規模漁業の未来を描くーDXとサステナブル金融の力

モデレーター	花岡 和佳男	津田 祐樹	桑井 真	狭間 拓人	マーティン・パーベス
	(株)シーフードレガシー 創業者 / 代表取締役社長	(株)フィッシャーマン・ ジャパン・マーケティング 代表取締役社長	UMINEKOサステナビリティ研究所 代表	古野電気(株) 船用機器事業部 DX推進部 水産DX推進課 課長	インターナショナル・ポール アンド・ライン・ ファウンデーション (IPNLF) 専務取締役

当社は、「安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現」という事業ビジョンのもと、本イベントへの参加を通じて得られる知見を活かし、今後もサステナブルな水産業の実現に向けて貢献してまいります。

<展示会概要>

名称: サステナブルシーフード・サミット 2025 in 大阪 (TSSS2025)

会期: 2025 年 10 月 1 日 (水) ~ 2 日 (木)

会場: グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場) 12 階 特別会議場

主催: 株式会社シーフードレガシー、日経 ESG

<https://sustainableseafoodnow.com/2025/>

以 上

古野電気株式会社 (兵庫県西宮市芦原町 9-52、代表取締役社長執行役員 古野幸男) / 東証プライム市場 (6814)